

## II 粒子線治療の現状と展望

## ● 粒子線治療実施施設からの報告

7. メディポリス  
がん粒子線治療研究センター

菱川 良夫 メディポリスがん粒子線治療研究センター センター長

<http://www.medipolis-ptrc.org/>設立から今日までの  
経緯の概略

一般財団法人メディポリス医学研究財団は、がんを中心とした疾患の診断および治療に関する研究、ならびに予防医学やこころのケア等に関する実践的な研究を行い、医療向上や国民の健康増進に貢献することを目的に設立された一般財団法人である。当財団の事業は、第I相臨床試験を受託する治験専門病院の「シーピーシー治験病院」と、先進医療施設の「メディポリスがん粒子線治療研究センター」の2つに分かれている。その中の1つであるメディポリスがん粒子線治療研究センターでは、がんに対する根本的、かつからだに優しいがん治療の実践により、鹿児島県民はもとより、国内外のがん患者さんのQOL向上に大きく寄与することを目的とし、「メディポリス指宿」プロジェクトを基に活動を行っている。

メディポリス指宿構想は、薩摩半島南端の温泉観光地である指宿市に位置し、総敷地面積が103万坪（東京ドーム約77個分）という壮大な規模を有するメディポリス指宿（図1）を舞台に、「南九州から世界に向けて“光”を放つ医療」を基本コンセプトとし、鹿児島県、鹿児島県医師会、指宿市、指宿医師会、地元の民間企業等に加え、鹿児島大学との協働による、産・官・学の協力体制で取り組んでいるプロジェクトである。このプロジェクトは、2004年4月に旧グ

リーンピア指宿の跡地を（株）新日本科学が落札し、12月に引き渡しを受けた時からスタートしている。その後、活用協議会を設置し、県、医師会、財界、銀行、大学などの地元有識者の方々と跡地の有効利用、および地域の活性化について協議を重ね、医療と健康をメインテーマに据えた再生方針が策定された。そのプロジェクトの運営主体として、当財団は2006年3月に設立された。

「メディポリス (Medipolis)」は、「医学、医療、医薬」を意味する英語“medical”と、「都市国家」を意味するギリシャ語“polis”とを組み合わせた造語であり、その名のとおり、従来に類のない総合的な“医療・健康都市”の構築をめざしている。具体的には、「高度先進医療」「予防医学」「こころのケア」「トランスレーショナルリサーチ」の4つの分野を戦略的な柱として、医療向上・健康増進というテーマを具現化し、社会的なニーズに応じて取り組んでいる。プロジェクトを進める中で、「切らずに治療する」粒

子線によるがん治療への取り組みを決定し、中核となる施設として、がん粒子線治療研究センターの建設に着手し、2010年3月に落成式典挙行、2011年春の開業に至った（図2, 3）。

## 治療の開始

2011年1月11日11時11分11秒、多くの関係者が見守る中、がん患者さんに初めて陽子線治療を行った。その後、先進医療施設認定のために13名の治療を行い、陽子線治療施設として認定後の4月1日から一般診療を開始した\*1。2011年度は212名、2012年度は311名の治療を行っている。

## 運営・運営組織と体制

メディポリスがん粒子線治療研究センターの組織は図4のとおりである。主として乳がんの粒子線治療の研究を行う研究部、がんの粒子線治療を行う医療部、



図1 がん粒子線治療研究センターと指宿ベイテラス（ホテル）